

## 第16回（定例）兵庫県教育委員会会議録

### 1 開会・閉会の年月日時及び場所

令和3年12月2日（木）15:00～16:20

神戸市中央区下山手通5丁目

兵庫県教育委員会教育委員会室

### 2 会議に出席した者の職氏名

教育長	西上教育長	
教育委員	清水委員	牧村委員
	空地委員	横山委員
	並河委員	
事務局	西田教育次長	唐津教育次長
	吉田事務局参事兼総務課長	中野財務課長
	稲次教職員課長	村田義務教育課長
	小俣特別支援教育課長	西田高校教育課長
	近都人権教育課長	北中体育保健課長
	田中スポーツ振興課長	橋本教職員課参事
	小山教育研修所長	森下特別支援教育センター所長

### 3 署名委員の指名等について

(1) 署名委員は、西上教育長の指名により、次のとおり決定された。

清水委員 並河委員

### 4 前回会議録の承認に関する件

#### 第15回（定例）兵庫県教育委員会会議録の承認

第15回定例教育委員会における議事4件、協議事項1件、報告事項2件の会議録について、吉田事務局参事兼総務課長が説明し、全員異議なく承認された。

### 5 議事

#### (1) 報第8号

教育長が臨時に代理した職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例制定に係る意見申出

人事委員会の職員の給与等に関する報告及び勧告等を考慮し、職員の給与改定を行う等所要の措置を講じるため、条例制定に係る教育委員会の意見を教育長が臨時に代理して決定したことについて、稲次教職員課長が説明し、審議の結果、賛成全員で原案のとおり承認された。

#### (2) 報第9号

教育長が臨時に代理した教職員の人事

教育長が臨時に代理した教職員の懲戒処分について、稲次教職員課長が説明

し、審議の結果、賛成全員で原案のとおり承認された。

### (3) 第57号議案

#### 令和4年度兵庫県教職員研修計画決定

令和4年度兵庫県教職員研修計画について、稲次教職員課長、小山教育研修所長及び森下特別支援教育センター所長が説明し、審議の結果、賛成全員で原案のとおり決定された。

## 6 報告事項

### (1) 国の経済対策補正の概要

令和3年11月26日に閣議決定された国の経済対策補正予算の概要及び文部科学省の補正予算のうち県教育委員会に関連する事業等について、中野財務課長が報告した。

### (2) 第2期兵庫県スポーツ推進計画に係るパブリックコメントの実施

第2期兵庫県スポーツ推進計画の策定に当たり、社会状況の変化や課題等を踏まえた今後の本県のスポーツ推進の方向性についての検討内容をまとめた標記計画（素案）について、県民から広く意見募集を行うため、パブリックコメントを実施することについて、田中スポーツ振興課長が報告した。

## 7 委員の主な意見及び事務局の説明

### (1) 令和4年度兵庫県教職員研修計画決定

（横山委員）

今回、担当者等研修の「ワーク・ライフ・バランスの実現と女性の力を兵庫の教育に活かすための研修」について、「スマートワークス～わたしらしい働き方～研修」に変更されたが、男女共同参画が後退したように感じる。

「わたしらしい働き方」というフレーズは、耳当たりはいいが、女性教員が管理職にならず現場にいるのが「わたしらしい」と解される可能性もあるため、女性管理職を目指すニュアンスにする必要があるのではないか。

（稲次教職員課長）

今年度、このネーミングには非常に苦勞をした。意図としては、男性・女性関係なく、自分らしさというものが十分発揮できるような学校づくりをしていく必要があるため、ICT機器の活用といったイメージが強いスマートワークスに、「わたしらしい働き方」というサブタイトルを付けた。委員のご指摘のとおり、誤解を生むようであれば、もう一度考え直したい。

（西上教育長）

ご指摘を踏まえ「わたしらしい」という言い方を「わたしを活かす働き方」など前向きな表現となるよう改める。

（清水委員）

学校では、教員がみんな仲良くと言うが、今の子どもたちには簡単なことではなく、大きなストレスや葛藤を抱えていることが多い。子どもたちのそうした状況に関わるタイミングを外し結局、傍観してしまう傾向もあるように感じる。教員相互の人間関係も、いろんな気がかりや思いを、積極的にやりとりする雰囲気になっているだろうか、何か感じることはないか。

(小山教育研修所長)

今年の初任者は、コロナ禍で大学4年次もあまり人と接することができない環境だったためか、休憩時間の雑談などが非常に少ない印象を持っている。また、例年になく早い時期に退職を申し出ている者もあり、自分が思っている教師像と違うということに対して、折り合いをつけていくことが苦手な教員がいる。

今後、さまざまな場で自分の考えていることと違う教育観とぶつかることもあるかと思うが、教員にはそういった経験をしてもらい、さまざまな考え方に触れて考えてもらいたい。

(西上教育長)

コロナ禍で教育実習が十分できなかったことも影響しているのではないかと危惧している。来年度以降は、2年目、3年目となり、後輩が入ってきて指導する立場になるため、教育研修所でコミュニケーションを取るような仕組みを検討してもらおう。

(空地委員)

学校現場の問題点を研修所へ持ち寄り、解決のため協議し、それをまた現場に持ち帰り実践していく、その繰り返しが大事であると思った。

また、初任者の指導については、医師でいう研修医と指導医のシステムも不可欠であり、多岐にわたる資質向上指標の達成状況は、第三者の目を見てアドバイスをしていくという形が重要である。

(稲次教職員課長)

初任者に対しては、各校で指導にあたる教員を充てるとともに、指導教員が過度の負担とならないように教員の加配も行なっている。指導教員についても、指標の取組や具体例を理解させ、初任者の指導にあたっていく必要がある。

加えて、業務以外の部分の悩みや困りごとを気軽に相談できる相手として、初任者の年齢に近い先輩教員をエルダーにつけ、初任者をフォローしている。

## (2) 第2期兵庫県スポーツ推進計画に係るパブリックコメントの実施

(牧村委員)

スポーツ全体を因数分解し、10年間パラメトリックにフォローしていくことになるが、今後の10年間については、予測できることと予測できないことがある。人口減少の影響は予測できるが、コロナの影響を予測することは難しい。そのため、コロナの影響を別出しするなど、コロナの影響を取り除きマクロのトレンドを分析する必要がある。

(田中スポーツ振興課長)

各市町においても人口の減少は当然分かっているので、その状況を踏まえて今後の地域スポーツのあり方を検討していただくよう進めていきたい。また、コロナの影響によりグラフが上下するため、表記の仕方を検討したい。

## 8 閉 会

以 上